

令和4年5月24日の焼岳噴火警戒レベル引上げ時の対応について

1. 対応の状況

- ・5月24日(火) 6:35 火山の状況に関する解説情報(臨時)
 気象庁の担当者から、県・市に焼岳の活動が活発化しているとの連絡
 →両県庁、関係市町村、地域振興局、県事務所の担当者は登庁
- ・5月24日(火) 9:30 噴火警戒レベル2発表
 同時刻火山防災協議会事務局会議開催(両県の市、県、地方事務所、气象台)
 火山活動の状況及び各機関の対応について確認

○各機関の主な対応

市町村	地元関係者に連絡、登山口に規制看板の設置 HP、SNSなどによる情報提供
県庁	登山届の回収を県警・市町村に依頼 登山者の立入状況の確認 HP、SNSなどによる情報提供
地域振興局・県事務所	火山防災協議会構成員に情報提供 長野県、岐阜県間の機関の対応状況の共有

- ・5月24日(火) 16:00 火山防災協議会事務局会議開催
 (両県の市、県、地方事務所、气象台)
 各機関の対応状況について確認及び共有
- ・6月1日(水) 長野県側焼岳地元住民向け説明会
- ・6月6日(月) 岐阜県側焼岳地元住民向け説明会
- ・7月7日(木) 火山防災協議会事務局会議開催
 レベル引下げにかかる各機関の対応について確認
- ・7月12日(火) 14:00 噴火警戒レベル1に引下げ
 すべての登山道の規制を解除(※5月23日以前の状況に戻す)

2. 良かった点、課題

〈良かった点〉

- ・全体としては、噴火警戒レベル導入後初めてのレベル引上げだったが、特に混乱することなく、火山防災避難計画に基づき対応できた。
- ・県警へりによる登山者への呼びかけが有効だった。
(これにより30人くらいが下山)

〈課題〉

- ・火山活動の状況、各機関の対応等についての情報共有
(幹事会開催の検討、事務局会議開催のタイミングなど)
- ・悪天候等、へりが飛べない状況での登山客への周知
- ・レベル引下げ後の登山道規制緩和のタイミング
- ・他県からの登山者への周知